

としま 議会だより

令和5年5月発行（年4回発行）Toshima Village 2023.5 No.101



▲入学式の様子（諏訪之瀬島）

TOPIX

○令和5年3月議会

3月6日～3月15日（8日間）

- ・専決処分の報告 1件
- ・条例の制定・改正 5件
- ・工事請負契約締結 1件
- ・指定管理者の指定 8件
- ・計画の変更 1件
- ・補正予算 7件
- ・当初予算 7件

○一般質問 3件

- ・日高 助廣 議員・・・2P
- ・岩下 正行 議員・・・3P
- ・永田 和彦 議員・・・4P

議会だよりの表紙となる写真を募集中です。島の風景や行事など魅力ある写真で表紙を

急患搬送及び医療体制について

○日高助廣議員 本年1月に分屯地からの搬送となるが遠距離となり、さらなる遅延の方が亡くなっている。改めて、本村の医療体制の脆弱さを痛感したところである。迅速な対応の為、ヘリ要請から搬送までについてマニュアル通りに実行されているか。

○肥後村長 鹿屋分遣隊廃止後の件については平島から急患要請があり宮崎県新田原基地からの対応があった。鹿屋基地で対応した時間と新田原基地で対応した時間はほぼ同じで、時間差はない状況である。

○日高助廣議員 ネット環境が整備され、医療ICTを活用した医療サービスを図るべきと考える。今後の医療ICTの活用について伺う。

○肥後村長 現状の遠隔医療システムについては、対面診療を補う手段として導入したシステムになっており、活用の在り方としては、赤十字病院・県立大島病院とも協議を進めながら、活用を推進していくべきと考えている。

これまで自衛隊による急患へリ搬送を要請する場合は「災害応援要請書」を作成し鹿児島県へ送付し、要請を行っていたが、それを簡略する仮通報を送付することで、初動を早くする目的となっている。

○肥後村長 鹿屋分遣隊廃止後の件については平島から急患要請があり宮崎県新田原基地からの対応があった。鹿屋基地で対応した時間と新田原基地で対応した時間はほぼ同じで、時間差はない状況である。

○日高助廣議員 ネット環境が整備され、医療ICTを活用した医療サービスを図るべきと考える。今後の医療ICTの活用について伺う。

○肥後村長 現状の遠隔医療システムについては、対面診療を補う手段として導入したシステムになっており、活用の在り方としては、赤十字病院・県立大島病院とも協議を進めながら、活用を推進していくべきと考えている。

これまで自衛隊による急患へリ搬送は天候や機材によって左右されるため一概には比較できないが他県からの対応となることから「仮通報」制度が導入されている。

○日高助廣議員 鹿屋航空分遣隊が廃止され、今後は宮崎県新田原基地・熊本県高遊原



▲日高 助廣 議員

職員の採用及びDXについて

○岩下議員 島で採用されて
なっている。若い人は、島
にいる職員や、今後定年等が考
えられる職種等の採用に対し
て、年齢条件、家族要件といっ
たものが足かせになっている
様を感じる。要件外で応募が
あった際にそういった部分
は、緩和できるのか。

○肥後村長 職員採用につい
ては、現在募集している出張
所長の募集状況を例に説明を
すると、一定の採用条件等を
定めているが、率先して応募
がくることは無いのが現状で
ある。適任者となり得る者の
要件は、今後、一定の変更を
することもあり得る。

○岩下議員 デジタル化が当
たり前の世の中になっており
ネット通販が、非常に盛んに

なっている。若い人は、島
に住みながらも、都会のも
のがネットで手に入る状況
になり便利になった。これ
からも、ネットを利用する
ことで、島民の生活は変わっ
てくるだろうと思う。一方
で、高齢者には、どのよう
にデジタル化を、指導して、
フォローするかという問題
が出てくると思う。

○肥後村長 デジタル化に
向けて、マイナンバーを、
今後いかに住民サービスに
繋げていくかが課題である。
DXアドバイザーの研修の
中で、四国のある村では、
スマートフォン普及率100
%を目指す取り組みをし
ており行政サービスを村民

1人1人に届け、窓口に来
なくても、申請手続きをス
マートフォンから行なって
もらうよう取り組んでいる
といった内容もあった。村
として、そういった事案も
参考に取り入れて、例えば、
乗船券を買わずにスマー
トフォンで購入するといった
取り組みを、第6次十島村
振興計画の中で明記し、軸
を持たせていくことが必要
である。



▲岩下 正行 議員



▲鹿児島赤十字病院へ
要望書提出の様子

日本赤十字へ要望（一部抜粋）

へりによる搬送は基本的に医師
が判断することから経過観察中に
体調が急変し、搬送後に死亡する
事例があり、住民から、現在の医
療体制に、不満、不安を抱く声
聞かれる。

本土と大きくかけ離れた地理的
条件・医療資源の状況を再度確認
いただき、へり搬送可否を判断す
る上において、最大限の配慮をお
願います。

併せて、かつての北部4島担当
の中之島常勤医師の復活と新たに
南部3島担当の宝島への常勤医師
の派遣を強く要望する。

令和五年三月十四日

十島村議会議長 前田 功一

鹿屋基地 急患搬送終了とその後の体制について

○永田議員 海上自衛隊鹿屋基地の救難ヘリが本村を含む離島からの急患搬送を担っていた。ところが、令和5年1月末で廃止される説明を受けていたが、年明けすぐの1月10日で、鹿屋基地での急患対応が終了

調整していること、小宝島、宝島については、燃料が足りず途中で給油しなければならぬことから、沖縄県的那覇駐屯地からヘリを飛ばすことで調整していると説明をうけていた。

するとの情報の共有があった。救難ヘリの出勤時間が当初の見込みより早く上限に達したため予定より3週間早い対応終了となったが防衛省や、県からどのような説明を受けているか。

年明けに鹿児島県から鹿屋基地のヘリの使用時間が残り10時間足らずであり、1月10日までであることの説明を受けたが、再調整はできなかった。

○肥後村長 鹿児島県からは、昨年12月に、鹿屋基地からの搬送ができなくなった際は、宮崎県新田原基地・熊本県の高遊原分屯地からヘリを飛ばす方向で

○永田議員 急患発生時に医師が居ることは稀である。遠隔システム等を活用し、医師の判断を仰いでいるが、担当医師がシステムのそばに居ない場合に診断ができないなどの問題点について、どのように認識しているか。

○肥後村長 システムが鹿児島赤十字病院内にあることから利用する場合、病院側との事前調整が必要になり、フェリー乗船中など、通信が困難になることがある。システムの補完の為に、J-ONと呼ばれる医療者間アプリを診療所携帯・巡回医師携帯に導入し連絡手段の多角化を図ることを検討している。



▲永田 和彦 議員



▲米盛病院との協定締結式の様子

としま議会だより NO.101 ④

5月10日、鹿児島市の米盛病院で締結式を実施しました。県のドクターヘリを要請するような重篤な症例でない場合でも、日本赤十字病院の連絡をもとに米盛病院ドクターヘリが出勤し、十島村の傷病者を本土まで搬送できるようになります。

米盛病院との連携がスムーズに進むことで、離島における医療環境の向上が期待されています。

一般会計

〈総務課〉

問 デジタル化について

答 行政PCの無線化等のデジタル推進を進めており、今後は、住民に関するサービスを展開することを考えている。マイナンバーについては、証明書のコンビニ交付を、離島の他自治体で行っていないところも多中で十島村のデジタル化は他の自治体と比べて進んでいる方だと考えている。

問 ななしま2の代替船について

答 現在、基本設計を行っており、現状のななしま2と同様のサイズ・船型・速力となる予定で話を進めている。材質についてもアルミとしており、耐用年数は約20年程度と聞いている。

〈地域振興課〉

問 テレワーク及びワーケーション推進について

答 施設は、悪石島に1カ所、口之島の旧売店を改修し運営している1カ所の合計2カ所ある。実績としては、長期で1名、その他の利用者が4名である。2名の方が利用後にアンケートに回答してくださり、設備は整っているが、食料の供給や島内での移動手段に少し不満があるとのことであった。来年度以降、使いやすい形での運用となるよう対応を考えたい。

テレワークについては、

企業からの問い合わせはなく、現時点では、個人利用しかない状況である。

悪石島のコミュニケーションについては、移住体験ツアー等の受入れを想定した施設であり、口之島についても、施設内にミーティングスペースを完備している。

企業のコラボや研修で、働きながら休暇がとれるようにはなっていることから、様々な企業にも目に付くように、メディアを利用した広告等の必要性も感じている。

問 今後の新型コロナウィルスワクチンについて

答 ワクチン接種の補助事業については、国庫負担金と国庫補助金の二つからなっており、国庫負担金は令和5年度も継続することが決まっている。国庫補助金については、国が上限を定めて交付すると説明を受けているが、確定はされていない状況である。

り、口之島についても、施設内にミーティングスペースを完備している。

〈土木交通課〉

問 地籍調査について、高齢化によって地権者の特定が困難になっていくことが予想されるがあと何年で完了できるか。

答 予算の都合上、早くても4年程度かかる見込みである。

問 地域のどこを整備するのか地元でわからないことがあるが、令和5年度は、どこの整備を行うのか。

答 整備箇所については今後、しっかり報告を行っていく。なお、令和5年度の実施箇所については、今後の座談会等で、要望を踏まえて決めていきたい。

〈教育委員会〉

問 海外ホームステイについて

答 教育委員会が独自で引

率することはできないため、の評価委員会からは、島ぐ旅行会社のほうへ確認の上、実施の可否の判断を行う。政治体制や、新型コロナウイルスが収束していない等の不安がある場合は、教育委員会が判断して、実施の可否を決定する。

問 天文台について
 答 費用対効果を考えると、入場者も少なく、維持費だけが大きくなっている。

問 マイナンバーについて
 答 マイナンバーカードを作っていない人については、今後、国はマイナンバーに免許証を含める話も出ているので、わかりやすく丁寧な説明をしていく。

問 船舶交通特別会計
問 船員の労務管理について
 答 休暇日数について、問題なく取得できているが、連続での乗船が続くと疲労も溜るため、引き続き欠員が生じた際は船員の確保に努めていきたい。

問 介護保険特別会計
問 いきいき教室について
 答 他の島で運営できるよ

問 骨粗鬆症検診について
 答 骨粗鬆症は、高齢者にとって転倒等の大きなリスクとなるので検診の補助対象となっており定期健診の

うにメニューの説明を行うなど全島で運営ができるような形で実施できるか、来年度は話し合いを行ってきたい。

問 巡回診療について
 答 工事関係者が多く巡回診療の際に民宿に泊まれないことがあり、住民センター等の公共施設に宿泊してもらっている状況は、他の島でも同様である。

問 デジタル化について
 答 デジタル化の一步を踏み出そうと、その準備を令和5年度は進めていく。マイナンバーを活用し診療所での保険証としての活用や、コンビニエンスストアでの住民票の交付といったものを進めていく。それ以外については、アドバイザーの知見を得ながら住民に還元できるよう進めていく。

総括質疑

特別会計

〈国民健康保険特別会計〉

問 医療費について

答 住民の検診率は高く、健康意識が高い状況であるが、飲酒・喫煙率も高く、課題が多い状況である。県

問 介護保険特別会計

答 他

の島で運営できるよ

〈後期高齢者医療特別会計〉

問 骨粗鬆症検診について

答 骨粗鬆症は、高齢者にとって転倒等の大きなリスクとなるので検診の補助対象となっており定期健診の

意味で受診される方が多い。〈へき地診療所運営事業特別会計〉

問 巡回診療について

答 工事関係者が多く巡回診療の際に民宿に泊まれないことがあり、住民センター等の公共施設に宿泊してもらっている状況は、他の島でも同様である。

問 デジタル化について

答 デジタル化の一步を踏み出そうと、その準備を令和5年度は進めていく。マイナンバーを活用し診療所での保険証としての活用や、コンビニエンスストアでの住民票の交付といったものを進めていく。それ以外については、アドバイザーの知見を得ながら住民に還元できるよう進めていく。

議決結果

十島村議会令和5年3月議会 議決結果 30 案件を審議し、全て全会一致で原案のとおり可決致しました。

第1回定例会

審議した案件	村長提出案件	30 件
可決・採決状況	原案可決	30 件
可決した主な議案	・条例の制定・改正 (5 件)	・令和4年度補正予算について (7 件)
	・契約の締結について (1 件)	・指定管理者の指定について (8 件)
	・令和5年度当初予算について (7 件)	・発議 (2 件)

契 約

- 令和4年度特定離島ふるさとおこし推進事業 給水管切替工事請負変更契約
- 令和4年度十島村簡易水道事業 中之島配水管布設替工事請負変更契約

条例の制定・改正

- 十島村畜産施設の設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例制定
- 十島村過疎地域産業振興促進条例制定
- 十島村国民健康保険条例及び十島村国民健康保険税条例の一部を改正する条例制定
- 他2件

指定管理

- | | |
|----------------|---------------|
| ○中之島生活改善施設 | ：ドリームトカラ |
| ○口之島畜産施設 | ：口之島畜産組合 |
| ○諏訪之瀬島農産物集出荷施設 | ：諏訪之瀬島農産物生産組合 |
| ○悪石島ヒサカキほ場 | ：悪石島枝物生産組合 |
| ○口之島タモトユリ展望施設 | ：口之島自治会 |
| ○口之島運動広場 | ：口之島老人クラブ |
| ○中之島西区住民生活センター | ：中之島西区 |
| ○中之島東区住民生活センター | ：中之島東区 |

令和4年度補正予算

・一般会計	補正第5号	+272,390千円	→	5,492,022千円
・国保特会	補正第2号	-26,386千円	→	146,376千円
・船舶特会	補正第3号	-21,229千円	→	1,422,178千円
・介護特会	補正第3号	-7,785千円	→	74,767千円
・簡水特会	補正第3号	-4,334千円	→	174,802千円
・後期特会	補正第2号	-3,253千円	→	17,206千円
・診療特会	補正第4号	-14,342千円	→	177,122千円

令和5年度当初予算

・一般会計	4,690,352千円	(対前年度比 +521,589千円)
・国保特会	184,575千円	(対前年度比 +24,395千円)
・船舶特会	1,356,763千円	(対前年度比 +15,903千円)
・介護特会	81,469千円	(対前年度比 +11,221千円)
・簡水特会	319,235千円	(対前年度比 +164,993千円)
・後期特会	19,154千円	(対前年度比 -1,512千円)
・診療特会	221,841千円	(対前年度比 +31,513千円)

発議

○十島村議会の個人情報保護に関する条例の制定

○島で安心して暮らせるための搬送・医療体制の充実を求める意見書

議会を YouTube で視聴できます！！

十島村議会 YouTube アカウントを作成しました。今後は、議会の中継を主に情報発信をしていきます。

6月議会の配信については、防災メールにて URL を配布いたします。

議長 前田 功一
 議会広報調査特別委員会
 委員長 田中 秀治
 副委員長 永田 和彦
 委員 土岐 純郎
 委員 岩下 正行
 委員 日高 久志
 委員 日高 助廣
 委員 坂元 勇

今回の議会だよりは、
 3名の議員の一般質問と
 議決結果を中心に編集し
 ています。

編集後記

